

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)1・2・3座間店	階数	地上4F
建設地	座間市小松原1丁目5204番1・5204番	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	500 人
気候区分		年間使用時間	4,700 時間/年
建物用途	集会所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年12月 予定	評価の実施日	2011年7月7日
敷地面積	6,065 m ²	作成者	(株)橋設計
建築面積	3,498 m ²	確認日	2011年7月7日
延床面積	14,100 m ²	確認者	(株)高松伸建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
総合 敷地南側の戸建住宅に配慮した植栽、動線計画を行っている。 周辺環境は、工業地域で緑が少ないが、本計画により、良好な緑の空間を提供している。 この植栽と建物の色彩の調和を考えて計画している。		
Q1 室内環境 各入り口には、風除室を設け、室温の変化を少なくする計画をしている。	Q2 サービス性能 バリアフリーに計画している。	Q3 室外環境 (敷地内) 植栽計画を徹底している。
LR1 エネルギー 高効率のエアコンを使用する。	LR2 資源・マテリアル 節水タイプの手洗器を使用する。	LR3 敷地外環境 場内駐車場、通路は浸透式アスファルト舗装を使用する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい